

農林水産省木材利用拡大行動計画の実施状況

—平成17年度実施状況の概要—

平成18年5月
農林水産省

1 公共土木工事

- 安全柵、手すり等に加え、四阿や休憩所も木製で整備
 - ・安全柵、手すり等の木製割合100%〔目標100%〕
 - ・林野公共事業における木材の使用量 2.0倍〔目標 平成11～13年の2倍程度〕



写真上 大分県豊後大野市「緒方中央農村公園」
柵工（農業農村整備事業）
左 福岡県岡垣町「玄海国定公園」
丸太防風柵工（治山事業：福岡森林管理署）

2 補助事業対象施設

- 平成17年度の目標達成に向けて、適切な事業の採択・実施に努力
 - ・補助事業対象施設における木造率100%〔目標100%〕



写真上 長崎県壱岐市「畜舎」
強い農業づくり交付金
（畜産生産基盤育成強化）
左 奈良県明日香村「明日香の夢市」
強い農業づくり交付金
（経営構造対策）

3 農林水産省等の対象施設及び対象物品

- 庁舎の木造化・内装木質化と木製品の導入を推進
 - ・ 庁舎を木造で新築 16施設
 - ・ 本省会議室の床の木質化を実施 117㎡
 - ・ 本省課長・室長以上の事務机の木製品化 86%（天板等一部木材使用は除く）
 - ・ 木製の事務机・会議机の導入 813個導入
- 白書に加え、パンフレット等印刷物への間伐材印刷用紙の使用
 - ・ パンフレット等への間伐材印刷用紙の使用 43種、42万部印刷
- 農政局や森林管理局等においても事務机、会議机の木製品化、間伐材封筒・間伐材フラットファイルの使用を推進
 - ・ 間伐材封筒の使用 約180万枚導入
 - ・ 間伐材フラットファイルの使用 約9万6千枚導入



写真上 広島北部森林管理署新庁舎
左下 林野庁林政部会議室
右下 間伐材印刷用紙を用いたパンフレット

4 モデル的な取組

残置式の木製型枠を用いたよう壁や谷止工の施工及び間伐材を使用した魚礁を設置



写真
コンクリート谷止工の壁面に使用した木製の残置式型枠（治山事業）

5 木材の安定供給のための取組

集成材や合板等を安定的に供給する体制のモデル的な整備に取り組んだほか、JAS規格木材の利用マニュアルの作成、森林土木木製構造物に関する歩掛等の充実。また、森林管理局等による木材利用拡大に関する具体的な説明や協力要請を実施。さらに、木材利用拡大のための問い合わせ窓口を設置し、木造施設の優良事例などに関する問い合わせに対応。

17年度の取組状況の検証

目標の達成に向けて各分野とも取組が着実に進展。特に文具類において木製品の導入が進み、使用量は昨年度と比較して間伐材封筒は約1.4倍、フラットファイルは約2倍となったところ

今後の取組み

平成18年度以降においても、農林水産省自らが木材利用の拡大に取り組み、民間部門の先導役としての役割を果たすよう、各分野ごとに取組を推進し目標の達成に努力するとともに、違法伐採対策としてグリーン購入法基本指針を用いた政府調達措置を推進